

令和4年度 保健体育科「体育」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A~G組 男女
教科書	現代高等保健体育 (大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)

1 学習の到達目標

- 1 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正・協力・責任などの態度を身に付ける。
- 2 自己やグループの能力や運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫し、必要な技能や体力を高めるために運動の合理的な行い方を身に付ける。
- 3 現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、スポーツとの関わり方や豊かなスポーツライフを設計し、実践していく方法を身に付ける

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体育理論	リエンション 各年齢におけるスポーツの楽しみ方、ライフスタイルの応じたスポーツとの関わり方	<ul style="list-style-type: none"> ・体育学習の意義や内容、評価について理解する。 ・身体的特徴、心理的特徴、社会的特徴に応じた行い方や楽しみ方があることを理解する。 ・自ら積極的、継続的にスポーツに取り組む。身近なスポーツ施設や無理なく行える自由時間、一緒にスポーツを行う仲間といった諸条件を整えることが大切であることを理解する。 	行動観察 学習カード
5	体づくり運動	体ほぐし運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動の意義について理解する。 ・ペアストレッチ 	行動観察
	【選択1】 球技	バスケットボール ソフトボール テニス バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・集団的技能や個人的技能を発揮し、作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさや喜びを味わう。 ・攻撃側と防御側に分かれ、攻防を交替しながら得点を競い合うところに楽しさや喜びを味わう。 ・ネット型のゲームの特性を理解し、相手の動きや打球に対応しゲームをできるようにする。 ・ルールについて理解する。 	行動観察 学習カード 記録測定 行動観察 学習カード スキルテスト
6	武道	剣道	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法、構え、足さばきと間合いの取り方 ・打突の仕方（正面打ち、胴打ち、小手打ち）、受け方 ・簡易試合 	行動観察 学習カード スキルテスト
7	ダンス 上記より 2種目選択	現代的なリズムのダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの歴史、特徴について理解する。 ・ヒップホップ、ストリートダンス（ジャンケン・手拍子） 	行動観察 学習カード 交流発表会
9	体育理論	スポーツ振興のための施策と諸条件	<ul style="list-style-type: none"> ・国や地方自治体の施策、スポーツ振興の支援団体について理解する。 	行動観察 学習カード
10	体づくり運動	体力を高める運動	<ul style="list-style-type: none"> ・パワー系トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、馬跳び） 	行動観察
	【選択1】 球技	サッカー バドミントン 卓球 バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・集団的技能や個人的技能を発揮し、作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさや喜びを味わう。 ・ネット型のゲームの特性を理解し、相手の動きや打球に対応しゲームをできるようにする。 	行動観察 学習カード スキルテスト
11	武道	剣道	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールについて理解する。 ・礼法、構え、足さばきと間合いの取り方 ・打突の仕方（正面打ち、胴打ち、小手打ち）、受け方 ・簡易試合 	行動観察 学習カード スキルテスト
12	ダンス 上記より 2種目選択	現代的なリズムのダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの歴史、特徴について理解する。 ・ヒップホップ、ストリートダンス（ジャンケン・手拍子） 	行動観察 学習カード 交流発表会

1	体育理論	スポーツと環境	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツにかかわる人々の増加は、施設を中心に大規模な開発を伴うことから環境全体への影響が大きく、スポーツの発展のためには持続可能な開発と環境保護の観点から十分な検討・配慮が求められていることを理解する。 	行動観察 学習カード
2	体づくり運動	体力を高める運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体力を高めることの重要性について理解する。 ・自己に適したペースで走り続ける。 	行動観察
3	【選択1】 球技	サッカー バドミントン 卓球 バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・集団的技能や個人的技能を発揮し、作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさや喜びを味わう。 ・ネット型のゲームの特性を理解し、相手の動きや打球に対応しゲームをできるようにする。 	行動観察 学習カード スキルテスト
	武道	剣道	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールについて理解する。 ・礼法、構え、足さばきと間合いの取り方 ・打突の仕方（正面打ち、胴打ち、小手打ち）、受け方 ・簡易試合 	行動観察 学習カード スキルテスト
	ダンス (2学期同様)	現代的なリズムのダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの歴史、特徴について理解する。 ・ヒップホップ、ストリートダンス（ジャンケン・手拍子） 	行動観察 学習カード 発表交流会

3 評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとしているか。 ・健康や安全に留意して運動しようとしているか。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出しているか。 ・課題の解決を目指し、工夫しているか。
運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、技能を高めているか。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。

4 評価の方法

<p>関心・意欲・態度については、授業参加への意欲・行動観察。学習カードの記載内容からの読み取り。</p> <p>思考・判断については、授業での行動観察。学習カードの記載内容からの読み取り。</p> <p>運動の技能については、授業への参加の仕方や態度の観察。学習カードやスキルテストからの読み取り。</p> <p>知識・理解については、授業での行動観察（ゲーム時のルール理解）。学習カードの記載内容からの読み取り。</p> <p>以上、4観点から総合的に評価する。</p>

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>授業開始時刻、服装、授業規律などをしっかりと守り、参加するだけでなく、主体的に活動しましょう。</p> <p>また、生涯を通じて運動に親むことができるように、運動の仕方は勿論のこと、競技会や記録会の企画・運営の仕方など基本的な事項も身に付けることができるような授業を行います。</p>

令和4年度 保健体育科「体育総合」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～G組 選択者男女
教科書	現代高等保健体育 (大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)

1 学習の到達目標

- 1 自己の能力・適性等に応じて種目を選び、自己やチームの能力を最大限に発揮し専門的な技術や戦術、作戦を修得し、相手やチームに応じた攻防を展開できる。
- 2 自己やチームに適した目標や課題を適切に設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにする。
- 3 選択する種目についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の構造及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、審判法、球技大会や競技会の開催の仕方やその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面から教養を身に付ける。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	【選択1】 球技	刈込マシーン (ゴール型) バスケットボール サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・体育総合の内容、評価について理解する。 ・自らが選択した種目の実践を通して、より高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮してゲームをすることができるようになることを目指します。 	行動観察 行動観察 学習カード スキルテスト
5		(ネット型) バレーボール バドミントン テニス 卓球		
6	【選択2】 球技	(ベースボール型) ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールなどを用いて、集団的技能や個人的技能を発揮し、攻撃と防御を展開し勝敗を争うことの中から、作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさや喜びを味わいます。 	
7		上記より 2 種目 選択して行う		
9	【選択3】 球技	(ゴール型) バスケットボール サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・自らが選択した種目の実践を通して、より高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮してゲームをすることができるようになることを目指します。 ・多くの球技に関心を抱き、幅広く球技を楽しめるようにします。 ・チームや自己の能力に応じた課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方やゲームの仕方を工夫できる能力を育みます。 	行動観察 学習カード スキルテスト
10		(ネット型) バレーボール バドミントン テニス 卓球		
11	【選択4】 球技	(ベースボール型) ソフトボール		
12		上記より 2 種目 選択して行う		

1	【選択4】 球技 (2学期同様)	(ゴール型) バスケットボール サッカー	・自らが選択した種目の実践を通して、より高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を發揮してゲームをすることができるようになることを目指します。	行動観察 学習カード スキルテスト
2	【自宅学習】	(ネット型) バレーボール バドミントン テニス 卓球 (ベースボール型) ソフトボール	・多くの球技に関心を抱き、幅広く球技を楽しめるようにします。 ・チームや自己の能力に応じた課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方やゲームの仕方を工夫できる能力を育みます。 ・ボールなどを用いて、集団的技能や個人的技能を發揮し、攻撃と防御を展開し勝敗を争うことの中から、作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさや喜びを味わいます。	
3		上記より2種目 選択して行う		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	・専門的な知識及び目的に応じた技能、これらを活用して課題を解決するため主体的に学習に取り組んでいるか。
思考・判断	・自己やチームに適した目標や課題を適切に設定して練習に取り組み、その課題を解決できているか。
運動の技能	・自己やチームの能力を最大限に發揮し専門的な技術や戦術、作戦を習得し、相手やチームに応じた攻防を展開できているか。
知識・理解	・種目の成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の構造及び技能の高め方、技術分析ができているか。 ・初心者への指導法、審判法、球技大会や競技会の開催の仕方やその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面から理解しているか。

4 評価の方法

<p>関心・意欲・態度については、授業参加への意欲・行動観察。学習カードの記載内容からの読み取り。</p> <p>思考・判断については、授業での行動観察。学習カードの記載内容からの読み取り。</p> <p>運動の技能については、授業への参加の仕方や態度の観察。学習カードやスキルテストからの読み取り。</p> <p>知識・理解については、授業での行動観察（ゲーム時のルール理解）。学習カードの記載内容からの読み取り。</p> <p>以上、4観点から総合的に評価する。</p>

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>授業開始時刻、服装、授業規律などをしっかりと守り、主体的な活動・仲間とのかかわり方に配慮することを求めます。</p> <p>また、生涯を通じて運動に親むることができるように、運動の仕方は勿論のこと、競技会や記録会の企画・運営の仕方など基本的な事項も身に付けることができるような授業を行います。</p>

令和4年度 芸術「音楽Ⅲ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～G 組
教科書	改訂版 高校生の音楽3 (音楽之友社)	副教材等	

1 学習の到達目標

<p>曲の特徴や雰囲気を感じ取り、適格に表現する。 卒業後、社会に出てからの音楽をよりよく結びつけられるようにする。 今まで身につけた知識や技術をより高め、自分にしかできない表現を目指す。</p>
--

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	発声	発声法	・正しい発声法、呼吸法を習得する。	行動観察
5	歌唱	四部合唱 「歌え！歌え！」	・音程、リズムを正しく表現できるようにする。 ・パートの役割を理解して表現を工夫する。	
6	鑑賞	「ドラムライン」 「アマデウス」	・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。 ・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	
7	歌唱テスト	「歌え！歌え！」	・グループに分かれ、四部合唱で発表する。	音程、バランス 表現力
9	歌唱	四部合唱 「いざ立て戦人よ」	・音程、リズムを正しく表現できるようにする。 ・パートの役割を理解して表現を工夫する。	行動観察
10	鑑賞	「チキ・チキ・バン・バン」	・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	表現力
11		「オペラ座の怪人」	・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	表現力
12		「ウエスト・サイド物語」	・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	表現力
		「グレン・ミラー物語」	・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	表現力
1	鑑賞	「キャッツ」	・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	表現力

3 評価の観点

音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。

4 評価の方法

音楽への関心・意欲・態度、音楽表現の創意工夫、音楽表現の技能、鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

音楽の表現において大切なことは、上手が下手かよりも音楽の一部分になれるかどうかだと思います。なんとなく覚えて演奏するのではなく、音楽のルール（拍や音の高さなど）も感じましょう。共通のルールの中で友人とアンサンブルすると、より一体感を体験できるでしょう。

音楽には、色々な心が込められています。また、心を込めることもできます。心のこもった音楽はとても美しいと思いますので、心を大切にしましょう。

楽器や楽譜を大切にしましょう。道具を大切にすることは、よりよい心と音につながっていくと思います。何かわからないことがあったら、その日の内に解決しましょう。質問をする、調べる等、いろいろな方法があると思います。音楽は実技科目です。その時間を大切に過ごさないと意味がありません。毎時間、みんなで一緒に参加しましょう。

令和4年度 芸術「美術Ⅲ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～G 組
教科書	高校生の美術3 (日本文教出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

美術の幅広い創作活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を高める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	オリエンテーション		・オリエンテーションを行い、基本的な授業の内容と規則を理解する。	ワークシート
5	立体表現 「鋳造」	・彫刻 ・デザイン ・鑑賞	・教科書や参考作品を鑑賞しながら課題確認を行い、課題制作に対する関心をもつ。	ワークシート
			・鋳造の技術の歴史や制作手順を学習して理解を深める。	ワークシート
			・課題作品に対する自分の思いや意味・造形の工夫などをスケッチする。	ワークシート
6			・課題制作に必要な技能として、鋳造体験を行う。	課題作品
			・自分が意図した表現のための道具を選択し、鋳造体験を活かして課題作品を制作する。	
			・鑑賞会を行い、他者の作品から作者の意図・立体表現の工夫・良さを感じ取り、鑑賞用紙にまとめる。また、課題制作に関する感想反省を記入する。	ワークシート
7				
9	自己表現 「ポートフォリオ」	・デザイン ・鑑賞	・教科書や参考作品を鑑賞して学習しながら課題確認を行い、課題制作に対する関心をもつ。	ワークシート
			・ポートフォリオの役割を学習して理解を深める。	ワークシート
10			・自分のポートフォリオの効果的な表現方法と構想を練りスケッチするとともに必要な材料を集める。	ワークシート
			・課題のための小作品制作を行う。	小作品
			・小作品制作での反省を活かし、課題作品を制作する。	課題作品
11			・鑑賞会を行い、他者の作品から作者の意図・表現の工夫・良さを感じ取り、鑑賞用紙にまとめる。また、課題制作に関する感想反省を記入する。	ワークシート
12				
1				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現活動や鑑賞などの創造活動に取り組もうとする。
発想・構想	完成や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技術を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。
鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。

4 評価の方法

授業内での活動や提出物・片付け・出欠状況から、4つの観点に基づき、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

大切なことは授業へ参加することです。上手下手にとらわれず積極的に取り組みましょう。また、美術作品を制作する上で必要となるものは制作道具です。その制作道具は学年をまたぎ、全学年で使用しています。借りたものは元の場所に必ず返却し、綺麗な状態で返却しましょう。制作道具を大切に使用することで、作品にも良い影響が現れます。結果、美術の技量や道具の扱いが上達するのです。思いやりの心を持って、人としてのルールを守り協力しあって授業に参加しましょう。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・3学年・A～G組
教科書	「書Ⅲ」教育図書	副教材等	

1 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯に渡り書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	書体と書風の変遷	復習+α	書体がどのように今の形へとなったのか改めて復習という形で理解させる。1・2年次に勉強した古典を復習する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
		篆書の学習	散氏盤	篆書から隸書の変遷の途中に着目させる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
		隸書の学習	長沙子彈庫楚帛書	篆書から隸書の変遷の途中に着目させる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	5	仮名の学習	針切 香紙切	1・2年次で勉強した仮名と比較して線と突き返しに着目しながら臨書する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	6	行書の学習	黄州寒食詩卷	1・2年次で勉強した行書と比較してどのような特徴があるのかに着目させながら臨書させる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
		楷書の学習	高貞碑 金剛経	1・2年次で勉強した楷書と比較してどのような特徴があるのかを鑑賞を通して感じてもらう。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
		漢字半切臨書	半切臨書	3年次で勉強した古典から選んで半切に臨書する。半切に臨書する際の紙面構成の仕方を再確認してから臨書する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
第2学期	9	仮名の学習	用具・用材 色紙制作	仮名に必要な紙を自分たちで作ってみる。平安時代の貴族がいかに紙に力を入れて華やかな作品へ仕上げていたのかを把握してからオリジナルの色紙を制作する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	10	創作仮名	紙面構成の仕方 制作	今まで勉強してきた臨書作品を基盤とした作品を作成した色紙に清書して創作をする。墨場必携を活用させた作品制作をする。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	刻字の学習	用具・用材 印稿・制作	刻字を作るにあたって必要な材料の名前を理解する。表札を自分の名字で1つ作り、印稿を作成。その後運刀し着色する。彫るにあたって運刀の仕方、注意事項を把握してもらおう。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	12	小筆の学習	細字臨書	1年から3年までに勉強した古典の中から1つ選択して小筆による細字臨書をする。小筆による扱い方を勉強する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
第3学期	1	水墨画の学習	表現の方法と制作	明清朝の書家が遺した絵を鑑賞し、絵でも墨を生かし、書の一環としていたことを把握してから描く。(卒業に沿ったものが望ましい) 絵の具で着色もすることでより再現させる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	2	小筆の学習	感謝の手紙を送ろう	卒業に伴い、家族に感謝の手紙を小筆で書く。この手紙は卒業式当日に生徒の家に届くよう郵送する。前回の水墨画のはがきも一緒に同封する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	3				

3 評価の観点

書道への 関心・意欲・態度	書道の伝統性や表現方法の多様さに興味・関心を持ち、積極的に書活動へ取り組もうとしているか。
発想や構想の能力	書活動をする中で発想や感性から構想し、最終的な自分自身の課題を捉えることができているか。
創造的な技能	書を表現するために必要な技能を身に付け、多様な表現を自分の意図したまますることができているか。
鑑賞の能力	書の伝統文化を理解し、書を芸術という観点から捉え考察することができているか。

4 評価の方法

書道への関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

書道は、古来から続く日本の伝統文化であり人格の完成に必要な不可欠な創造力を養うことができます。沢山の古典作品を主体的に鑑賞することにより発想力や表現方法を豊かなものにします。また発想を自分の力で制作することで力の可能性を広げることができます。時間厳守や作品提出期限厳守、道具を大切に扱うなどのモラルを徹底するようにします。授業中は私語を慎み、集中して作品制作に努めるようにします。

令和4年度 芸術「音楽表現」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～G 組
教科書	音楽I 改訂版 Tutti (教育出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

曲の特徴や雰囲気を感じ取り、適格に表現する。
 卒業後、社会に出てからの音楽をよりよく結びつけられるようにする。
 今まで身につけた知識や技術をより高め、自分にしかできない表現を目指す。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等		
4	発声	発声法	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい発声法、呼吸法を習得する。 ・2年間、音楽から離れていたメンバーなので、十分な発声を行う。 ・音程、リズムを正しく表現できるようにする。 ・楽曲の作曲された背景などについて知る。 	行動観察		
5	歌唱	ドイツ歌曲 「野ばら」				
6	鑑賞	「アニー」 「オズの魔法使い」			<ul style="list-style-type: none"> ・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。 ・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。 	
7	歌唱テスト	「野ばら」	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏会形式で独唱する。 	音程、リズム 表現力		
9	器楽	鍵盤楽器	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の正しいフォームを身に付ける。 ・まずは片手で弾けるようにする。 ・両手で弾けるようにする。 	行動観察		
10	鑑賞	「チキ・チキ・バン・バン」			<ul style="list-style-type: none"> ・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。 	表現力
11		「オペラ座の怪人」			<ul style="list-style-type: none"> ・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。 	表現力
12		「ウエスト・サイド物語」			<ul style="list-style-type: none"> ・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。 	表現力
12	器楽テスト	鍵盤楽器	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの進度に合った楽曲を選び演奏する。 	表現力		
1	鑑賞	「キャッツ」	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。 	表現力		

3 評価の観点

音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。

4 評価の方法

音楽への関心・意欲・態度、音楽表現の創意工夫、音楽表現の技能、鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

音楽の表現において大切なことは、上手が下手かよりも音楽の一部分になれるかどうかだと思います。なんとなく覚えて演奏するのではなく、音楽のルール（拍や音の高さなど）も感じましょう。共通のルールの中で友人とアンサンブルすると、より一体感を体験できるでしょう。

音楽には、色々な心が込められています。また、心を込めることもできます。心のこもった音楽はとても美しいと思いますので、心を大切にしましょう。

楽器や楽譜を大切にしましょう。道具を大切にすることは、よりよい心と音につながっていくと思います。何かわからないことがあったら、その日の内に解決しましょう。質問をする、調べる等、いろいろな方法があると思います。音楽は実技科目です。その時間を大切に過ごさないと意味がありません。毎時間、みんなで一緒に参加しましょう。

令和4年度 芸術「美術表現」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～G組
教科書	高校生の美術1（日本文教出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

美術の幅広い創作活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を高める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	オリエンテーション		・オリエンテーションを行い、基本的な授業の内容と規則を理解する。	ワークシート
5	版画表現 「スクリーン プリント」	・絵画 ・鑑賞	・教科書や参考作品を鑑賞して版画の種類と表現方法を学習しながら課題確認を行い、課題制作に対する関心を持つ。	ワークシート
6			・印刷体験を通して、自分の作りたい作品の主題や表現の工夫を考え、スケッチする。	ワークシート
7			・制作に必要な道具の機能や使用方法・制作手順を確認する。 ・印刷体験やスケッチ・制作手順を元に課題制作を行う。 ・鑑賞会を行い、他者の作品から作者の意図・表現の工夫・良さを感じ取り、鑑賞用紙にまとめる。また、課題制作に関する感想反省を記入する。	課題作品 ワークシート
9	油絵表現 「印象派模写」	・絵画 ・鑑賞	・教科書や参考作品を鑑賞して学習しながら課題確認を行い、課題制作に対する関心をもつ。	ワークシート
10			・絵画における印象派の位置付けや時代背景を学習して理解を深める。	ワークシート
11			・制作に必要な材料・道具の使用法を体験的に学習する。 ・課題のための小作品制作を行う。	ワークシート 小作品 課題作品
12			・小作品制作での反省を活かし、印象派作家の作品を課題作品として制作する。 ・鑑賞会を行い、他者の作品から作者の意図・表現の工夫・良さを感じ取り、鑑賞用紙にまとめる。また、課題制作に関する感想反省を記入する。	ワークシート
1				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現活動や鑑賞などの創造活動に取り組もうとする。
発想・構想	完成や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技術を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。
鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。

4 評価の方法

授業内での活動や提出物・片付け・出欠状況から、4つの観点に基づき、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

大切なことは授業へ参加することです。上手下手にとらわれず積極的に取り組みましょう。また、美術作品を制作する上で必要となるものは制作道具です。その制作道具は学年をまたぎ、全学年で使用しています。借りたものは元の場所に必ず返却し、綺麗な状態で返却しよう。制作道具を大切に使用することで、作品にも良い影響が現れます。結果、美術の技量や道具の扱いが上達するのです。思いやりの心を持って、人としてのルールを守り協力しあって授業に参加しましょう。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・3学年・A～G組
教科書	「書Ⅰ」光村図書	副教材等	手本プリント・ワークシート

1 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化について理解を深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	書写と書道の違い	書体の変遷 文房四宝 表現の方法	書写から書道の違いを把握させ、書体がどのように今の形へとなったのか理解させる。文房四宝の意味と種類によってどのように変わってくるかを様々な用具・用材で試してみる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	5	楷書の学習	九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序	楷書の古典作品の中でも代表的な作品の特徴と線質・書風を学び、理解したうえで臨書する。作者の表現方法により作品が変わることを理解したうえで臨書をさせる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	6	行書の学習	顔氏家廟碑 牛橛造像記 行書の特徴を捉える 蘭亭序	楷書の古典作品の中でも代表的な作品の特徴と線質・書風を学び、理解したうえで臨書する。作者の表現方法により作品が変わることを理解したうえで臨書をさせる。 行書の成立、楷書との違いや特徴を理解する。今まで行書だと思っている整った行書はまだ確立されていないがこの蘭亭序こそ行書の完成といえることを知る。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	7	一学期まとめ		一学期に勉強した古典の中から好きな古典を選択し、臨書する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
第2学期	9	実用書	基本用筆	体裁良く書けるようバランスの良い字を書くポイントを掴む。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	氏名 住所 封筒・葉書 のし袋		自分の氏名、住所を正しく丁寧に書けるようにする。 封筒や葉書、のし袋のマナーを学ぶ。		
	10				興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	実用書 半紙創作(5文字)	写経	写経	興味・関心、ワークシート 提出作品、鑑賞
	12		創作漢字	今まで勉強してきた臨書作品をベースとした作品を創作する。 墨場必携を活用させた作品制作をする。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
第3学期	1	水墨画の学習	表現の方法と制作	明清朝の書家が遺した絵を鑑賞し、絵でも墨を生かし、書の一環としていたことを把握してから描く。 (卒業に沿ったものが望ましい) 絵の具で着色もすることでより再現させる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	2	小筆の学習	感謝の手紙を送ろう	卒業に伴い、家族に感謝の手紙を小筆で書く。この手紙は卒業式当日に生徒の家に届くよう郵送する。 前回の水墨画のはがきも一緒に同封する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	3				

3 評価の観点

書道への 関心・意欲・態度	書道の伝統性や表現方法の多様さに興味・関心を持ち、積極的に書活動へ取り組もうとしているか。
発想や構想の能力	書活動をする中で発想や感性から構想し、最終的な自分自身の課題を捉えることができているか。
創造的な技能	書表現するために必要な技能を身に付け、多様な表現を自分の意図したまますることができているか。
鑑賞の能力	書の伝統文化を理解し、書を芸術という観点から捉え考察することができているか。

4 評価の方法

書道への関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

書道は、古来から続く日本の伝統文化であり人格の完成に必要な不可欠な創造力を養うことができます。沢山の古典作品を主体的に鑑賞することにより発想力や表現方法を豊かなものにします。また発想を自分の力で制作することで力の可能性を広げることができます。時間厳守や作品提出期限厳守、道具を大切に扱うなどのモラルを徹底するようにします。授業中は私語を慎み、集中して作品制作に努めるようにします。

令和4年度 「コミュニケーション英語Ⅱ」 シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A ～ G 組
教科書	VISTA English Communication II New Edition (三省堂)	副教材等	コーパス 1800 (東京書籍) Listening pilot(第一学習社)

1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。 ・英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できるように、基礎的な英語の能力を養う。
--

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	Lesson 1 Birthdays、 Here and There	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞や if で始まる節 ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの国の誕生日の文化について理解する。 ・疑問詞や if で始まる節について理解できているか。 ・内容を理解した上で読んでいるか。 	行動観察 ワークシート分析
5	Lesson 2 The Emerald Isle WORD NAVI 1800 P156～167	<ul style="list-style-type: none"> ・原級、比較級、最上級 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイルランドとはどんな国か理解する。 ・原級、比較級、最上級を理解できているか。 ・内容を理解した上で読んでいるか。 	行動観察 ワークシート分析 考査
6	Lesson 3 The Sagrada Familia	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞 ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産であるサグラダファミリアについて理解する。 ・名詞を修飾する現在分詞、過去分詞について理解できているか。 ・内容を理解した上で読んでいるか。 	行動観察 ワークシート分析
7	Lesson 4 Nobel Prize Episode WORD NAVI 1800 P168～179	<ul style="list-style-type: none"> ・知覚動詞 ・to 不定詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーベル賞について理解する。 ・知覚動詞について理解できているか。 ・to 不定詞について理解できているか。 ・内容を理解した上で読んでいるか。 	行動観察 ワークシート分析 考査
9	Lesson 5 Flowers in the Tomb	<ul style="list-style-type: none"> ・使役動詞 ・関係代名詞 what ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・ツタンカーメンの墓について理解する。 ・使役動詞について理解できているか。 ・関係代名詞 what について理解できているか。 ・内容を理解した上で読んでいるか。 	行動観察 ワークシート分析
10	Lesson 6 Becoming the Best WORD NAVI 1800 P180～191	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞+to 不定詞 ・seem の用法 	<ul style="list-style-type: none"> ・錦織圭選手のインタビュー記事について理解できているか。 ・疑問詞+to 不定詞について理解できているか。 ・seem の用法について理解できているか。 ・内容を理解した上で読んでいるか。 	行動観察 ワークシート分析 考査
11	Lesson 7 The Galapagos Islands	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了進行形 ・形式目的語 ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラパゴス諸島について理解する。 ・現在完了進行形について理解できているか。 ・形式目的語について理解できているか。 ・内容を理解した上で読んでいるか。 	行動観察 ワークシート分析
12	Lesson 8 Shodo、 Old and New WORD NAVI 1800 P192～205	<ul style="list-style-type: none"> ・部分否定 ・助動詞+受け身 ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・書道の長い伝統について理解する。 ・部分否定について理解できているか。 ・助動詞+受け身について理解できているか。 ・内容を理解した上で読んでいるか。 	行動観察 ワークシート分析 考査

1	Lesson 9 Water World	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の非制限用法 ・現在完了の受け身 ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・水族館の歴史と発展について理解する。 ・関係代名詞の非制限用法について理解できているか。 ・現在完了の受け身について理解できているか。 ・内容を理解した上で読んでいるか。 	行動観察 ワークシート分析 考査
---	-------------------------	--	---	----------------------------

3 評価の観点

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度：(関)	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
英語表現の能力：(表)	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。
英語理解の能力：(理)	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
言語や文化についての 知識・理解：(知)	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

4 評価の方法

コミュニケーションへの関心・意欲・態度、英語表現の能力、英語理解の能力、言語や文化についての知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解したうえで音読を何度もして、英語の感覚を身につけるようにしましょう。 ・ある事柄を英語で表現するにはどうしたらいいかを常に頭に置き、実際声に出してみよう。 ・授業中にしか英語に接する機会が無いかもしれませんので、授業中は積極的に音読やペアワークに参加し英語を話しましょう。 ・学習したことは自分の口で言ってみると身につけやすいので、積極的に声を出して復習をしましょう。 ・自学自習ができることが将来的にも大切です。辞書や参考書を利用して自分で学べるようにしてください。
--

令和4年度 「基礎英語」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通 科 3年 A～G組選択者
教科書	Vista English Communication I New Edition (数研出版)	副教材等	コーパス 1800 (東京書籍) UNITE STAGE 0 (数研出版)

1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。 ・英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できるように、基礎的な英語の能力を養う

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	Let's start	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・自己紹介 ・他己紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語での挨拶の仕方を知る ・自己紹介の仕方を知る ・他人を紹介する 	行動観察
5	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> ・文の種類 ・品詞 ・語順 ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・肯定文や疑問文の作り方を知る ・名詞や動詞など品詞について知る ・英語に於いて語順の大切さを知る ・十分な音声で内容を理解をして読む 	ワークシート分析 行動観察
6	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> ・時制 (1) (現在形、過去形、進行形、など) ・英語のユーモアの理解 ・音読 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・時制とその動詞形の使い方を知る ・話しのおもしろさを理解する ・意味を理解した上で読んでいるか 	行動観察 ワークシート分析 考査
7	Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> ・時制 (2) (現在完了形) ・科学的文章の読解 ・自分の夢を語る ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了が理解する ・論理的な読みを学ぶ ・英語で自己表現をする ・意味を理解した上で読んでいるか 	行動観察 ワークシート分析
	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can, may, must, would shall ・エッセイの読解 ・音読 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なニュアンスの助動詞の使い分けを知る ・Q and A に対応できるか ・意味を理解した上で読んでいるか 	行動観察 ワークシート分析 考査
9	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> ・受け身 ・戦後の沖縄球児について ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な文脈に於いて受け身が使えるようにする ・戦後の沖縄について理解する ・意味を理解した上で読んでいるか 	行動観察 ワークシート分析
10	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞 ・本課での英語ゲームのやり方を理解し、実演する ・本課以外のゲームを行う ・音読 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞を用いた様々な表現が使えるようにする ・英文を理解し、それに基づいて実演する ・英語のゲームをする ・意味を理解した上で読んでいるか 	行動観察 ワークシート分析 考査

11	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ・動名詞 ・会話文を読む ・食文化について ・日本食の紹介 ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・動名詞を理解し、使えるようにする ・当事者のように読む ・異文化理解を深める ・英語で日本食を紹介する ・意味を理解した上で読んでいるか 	行動観察 ワークシート分析
12	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞 ・動物園とその動物について ・音読 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞、過去分詞を適切に使えるようにする ・Q and A に対応できるか ・意味を理解した上で読んでいるか 	行動観察 ワークシート分析 考査
1	Lesson 9 Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 ・記号とその意味するものについて ・自分なりの記号を作って紹介 ・音読 <ul style="list-style-type: none"> ・比較 ・自然科学に関する文章読解 ・音読 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な接続詞が適切に使えるようにする ・Q and A に対応できるか ・英語で発表する ・意味を理解した上で読んでいるか <ul style="list-style-type: none"> ・様々な比較表現を知る ・Q and A に対応できるか ・意味を理解した上で読んでいるか 	行動観察 ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析 考査

3 評価の観点

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度：(関)	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
英語表現の能力：(表)	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。
英語理解の能力：(理)	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
言語や文化についての 知識・理解：(知)	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

4 評価の方法

コミュニケーションへの関心・意欲・態度、英語表現の能力、英語理解の能力、言語や文化についての知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解たうえで音読を何度もして、英語の感覚を身につけるようにしましょう。 ・ある事柄を英語で表現するにはどうしたらいいかを常に頭に置き、実際声に出してみよう。 ・授業中にしか英語に接する機会が無いかもしれませんので、授業中は積極的に音読やペアワークに参加し英語を話しましょう。 ・学習したことは自分の口で言ってみると身につくので、積極的に声を出して復習をしましょう。 ・自学自習ができることが将来的にも大切です。辞書や参考書を利用して自分で学べるようにしてください

令和4年度 「応用英語」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年A～G 組選択者
教科書	Vista English Communication II New Edition (三省堂)	副教材等	コーパス 1800 (東京書籍) UNITE STAGE 1 (数研出版)

1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。 ・英語を通じて考えを表現する能力を伸ばすと共に、言語に対する見方、分析力を深め、主体的に取り組む態度を育成する。
--

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	Let's start	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・自己紹介 ・他己紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語での挨拶の仕方を知る ・自己紹介の仕方を知る ・他人を紹介する 	行動観察
5	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> ・文の種類 ・品詞 ・語順 ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・肯定文や疑問文の作り方を知る ・名詞や動詞など品詞について知る ・英語に於いて語順の大切さを知る ・十分な音声で内容を理解をして読む 	ワークシート分析 行動観察
6	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> ・文型（動詞による5文型） ・品詞について理解させる ・日米の文化差 ・音読 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞による文型の違いの理解 ・主語、動詞、目的語、補語の区別をする ・話しのおもしろさが分かるようにする ・意味を理解した上で読んで いるか 	行動観察 ワークシート分析 考査
7	Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> ・時制（1）（現在形、過去形、進行形、など） ・時間を追って文章を理解させる ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞の活用ができるか ・時間を追っての読みをする ・意味を理解した上で読んで いるか 	行動観察 ワークシート分析
	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> 時制（2）（未来を表す表現） ・自国文化の理解 ・日本文化について発表 ・音読 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・未来の表現について知る ・Q and A に対応できるか ・自己表現をする ・意味を理解した上で読んで いるか 	行動観察 ワークシート分析 考査
9	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> ・時制（3）（完了形） ・気候についての理解 ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形を理解する ・国によって暴風雨等の呼称の違いを理解する ・意味を理解した上で読んで いるか 	行動観察 ワークシート分析
10	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞（1） can, may, must, would shall ・紙と電子辞書について理解 ・音読 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞の違いを理解する ・紙と電子辞書の良い点、悪い点の区別をする ・意味を理解した上で読んで いるか 	行動観察 ワークシート分析 考査

11	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 (推量を表す助動詞) ・トイレを巡る表現の差 ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・推量助動詞を理解する ・異文化理解を深める ・意味を理解した上で読んでいるか 	行動観察 ワークシート分析
12	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態 ・会話文を読む ・音読 <p>期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態を文脈に応じて適切に使う ・Q and A に対応できるか ・意味を理解した上で読んでいるか 	行動観察 ワークシート分析 考査
1	Lesson 9 Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞 (1) ・エッセイを読む ・音読 <p>不定詞 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明文に関する文章読解 ・音読 <p>学年末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な不定詞が適切に使う ・Q and A に対応できるか ・意味を理解した上で読んでいるか <ul style="list-style-type: none"> ・様々な不定詞の表現を学ぶ ・Q and A に対応できるか ・意味を理解した上で読んでいるか 	行動観察 ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析 考査

3 評価の観点

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度：(関)	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
英語表現の能力：(表)	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。
英語理解の能力：(理)	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
言語や文化についての 知識・理解：(知)	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

4 評価の方法

コミュニケーションへの関心・意欲・態度、英語表現の能力、英語理解の能力、言語や文化についての知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解するため音読を何度もして、英語の感覚を身につけるようにしましょう。 ・ある事柄を英語で表現するにはどうしたらいいかを常に頭に置き、実際声に出してみよう。 ・授業中にしか英語に接する機会が無いかもしれませんので、授業中は積極的に音読やペーパーワークに参加し英語を話しましょう。 ・学習したことは自分の口で言ってみると身につけやすいので、積極的に声を出して復習をしましょう。 ・自学自習ができることが将来的にも大切です。辞書や参考書を利用して自分で学べるようにしてください
--

令和4年度 生活デザイン研究シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	3年選択
教科書	「家庭総合」自立・共生・創造 東京書籍	副教材等	資料集 スーパーライブビュー

1 学習の到達目標

家庭生活、福祉、消費生活、食生活などに関する知識と技術を体験的に習得させ、生涯を見通した生活を考え、様々な人と共に生きる力を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	生活をつくる	1 生涯の生活設計	・生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について理解します。	行動観察 ワークシート
5	手芸製作	2 ライフスタイルと生活設計	・簡単な手芸作品を制作し、生活に生かす。	発言内容 実習作品
6		高齢者と共に生きる	1. 高齢者の生活と社会	・生涯を見通して高齢期をとらえるとともに、高齢者の身体的、心理的特徴について理解します。
7	2. 高齢者を理解する		・高齢者の意思の尊重や残存能力を生かす生活支援の在り方について考えます。	ワークシート 発言内容
	3. 高齢者を支えるしくみ		・高齢化の特徴や居住地域の高齢化の状況について理解します。	行動分析 小テスト
		4. 高齢者を介護する		
		5. これからの高齢社会		
9	共に育つ親子	1. 子どもの育つ力	・子どもと実際にかかわり、子どもは生活の中で人と関わりを通して育つことを理解します。	行動観察 実習作品
10		2. 親として共に育つ	・子どもの発育・発達には、個人差があるが一定の順序と共通性があることを理解します。	小テスト ワークシート
11		3. 健やかに育つ環境づくり	・愛着形成や将来の人間関係の基盤について考え、保育の責任は親と社会の支援であることを理解します。	ワークシート
12	食べる	1 ライフステージにおける食事	・近年の子どもを取り巻く環境の変化について考えます	行動観察 ワークシート
			・ライフステージにおける食事の違いから、家族それぞれの栄養的な特徴について理解します。	
			・調理の基本的な調理実習を通し体験的に身に付けます。	ワークシート 小テスト

1	生活を設計する	1.生活設計の考え方 2.家庭生活と地域福祉	・日本の伝統料理（お正月料理） ・将来の生活に向かって目標を立て、展望をもって生活することの重要性を理解します。	行動観察 ワークシート 発言内容
---	---------	---------------------------	---	--------------------------------

3 評価の観点

関心・意欲・態度	積極的に授業に参加し、学んだ内容について実際の家庭生活の中で実践しようとしている。 遅刻・欠席が少なく、授業や実習に積極的に取り組む態度が見られる。 福祉について感心を持ち、問題解決や充実向上を目指して意欲的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。
技能	衣食住などに関する技術を総合的に身に付けている。
知識・理解	家庭生活の意義や役割を理解している 家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。 福祉の役割を理解し、問題解決や充実向上するために必要な基礎的・基本的知識を身に付けているか。

4 評価の方法

関心・意欲・態度，思考・判断・表現，技能，知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者から（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項）

生活デザイン研究は「福祉」に関するさまざまな項目をより専門的に学ぶ科目です。日頃から、自分の生活を見直す意識を持ち、「福祉」に関する情報に敏感になりましょう。積極的に授業や実習に参加し、そこで得た知識や技術を日常生活で生かし、より主体的な高校生活を送れることを期待します。

令和4年度 家庭 「服飾手芸」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	3年選択
教科書	家庭総合 自立・共生・創造(東京書籍)	副教材等	資料集 Super Live View 家庭科 (東京書籍)

1 学習の到達目標

- ①衣服および手芸の技法などに関する知識と技術の習得を目指します。
 ②浴衣や手芸品を創造的に製作し、衣生活に活用する能力と態度を育てます。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	基礎縫い	手縫い・ミシン縫いの基礎 刺し子の巾着の製作	<ul style="list-style-type: none"> 製作を通して基本の縫い方、縫いしろの始末の方法を学ぶ。 伝統的な刺し子について学ぶとともに、その基本的技法を身につける。自己表現として浴衣に似合う刺し子糸の配色を考える。 	ワークシート 実習作品
	5	被服の機能	平面構成と立体構成 和服について 和服の特徴 和服の各部の名称	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の構成について学ぶ。 日本の民族衣装である和服の特徴を学ぶ。 和服の各部の名称を理解する。 	ワークシート ワークシート 発言内容 行動観察
	6	被服の製作	浴衣の製作	<ul style="list-style-type: none"> 和服製作についての知識と技術を習得する。 	小テスト 実習作品
			単衣長着	素材と用具 裁断 本縫い 身ごろ おくみ わき すそ	<ul style="list-style-type: none"> 和服独特の縫い方、縫い代の始末についてその意義を理解し、技術を身につける。 浴衣の裁断の仕方を学ぶ。 浴衣の身頃の縫い方、おくみの縫い方を理解する。 くりこし揚げやきせの役割を学ぶ。
	7	小物の製作	浴衣の残り布を利用したティッシュカバーの製作	<ul style="list-style-type: none"> 浴衣の残り布を利用してティッシュカバーを製作する。 完成をイメージしながら、合理的に裁断・縫製する。 	実習作品・行動観察 ワークシート
第2学期	9	被服の製作		<ul style="list-style-type: none"> 1学期に引き続き、浴衣の製作を行う。 	行動観察
		単衣長着	浴衣の製作		実習作品
			本縫い	<ul style="list-style-type: none"> えりやそでの構造を理解する。 	ワークシート
	10		えり作り えりつけ		
	11		そで作り そでつけ	<ul style="list-style-type: none"> えり作りやそで作りなどを丁寧に仕上げる。 	実技テスト
		手芸の種類と特徴	伝統文化としての手芸	<ul style="list-style-type: none"> 刺繍、染色、編物など様々な手芸を理解し、伝統文化と関連付けて学ぶ。 	ワークシート 発言内容・小テスト
	12	小物の製作	シュシュの製作	<ul style="list-style-type: none"> 浴衣の残り布を利用して、シュシュを製作する。 完成をイメージしながら、合理的な縫製方法を学ぶ。 	行動観察・実習作品 ワークシート

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	服装美	着装 浴衣の着つけ	・浴衣のの着つけ、帯結を体験し、体型に合わせた着つけの技術を身につける。	行動観察
			浴衣のたたみ方	・浴衣のたたみ方を学ぶ。	実技テスト
	2 3	手芸作品の製作	編物の製作 エコたわしなど	・かぎ針編みの基本的な技術を身につける ・オリジナルを作ることで、創作することの楽しさを学ぶ。 ・自分で題材を決め、製作を行う。	行動観察 実習作品 ワークシート

3 評価の観点

関心・意欲・態度	・衣服や手芸の構成・材料・製作について関心をもち、衣生活の充実・向上をめざして意欲的にとりくむとともに、創造的に製作する態度を身につけている。
思考・判断・表現	・衣服や手芸の構成・材料に関して、課題を見出し、思考を深め、創意工夫し、表現する能力を身につけている。 ・製作については、目的に応じてどのような材料・デザインが適当かを判断する力を身につけている。
技能	・実習を通じて技能を習得し、製作題材を踏まえた的確な技法を用い、計画に従って能率的に衣服や手芸の製作を行うことができる技能を身につけている。
知識・理解	・衣服や手芸の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、創造的に製作するために必要な知識を身につけている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

・服飾手芸は「衣」に関するさまざまな項目をより専門的に学ぶ科目です。社会に出て自立した生活を送るためのさまざまな技術と知識を学びます。積極的に授業や実習に参加し、そこで得た知識や技術を日常生活で生かし、より主体的な高校生活を送れることを期待します。
・作品は必ず完成したものを提出してください。欠席すると、内容がわからなくなったり、作業が遅れて評価に影響したりします。休まないようにしましょう。作業が遅れがちな人は、昼休みや放課後に補習を行います。
・被服室での講義や実習になります。積極的、主体的に実習等に取り組みましょう。その際は、安全等に注意し、道具や材料の取り扱いに注意しましょう。